

# 【チャレンジ問題⑤】 解答

算数 分数のたし算・ひき算	5年 組 名前
---------------	---------

問一 次の□にあてはまる数字を書きましょう。

(1)  $\frac{\square}{12} = \frac{1}{3}$

(2)  $\frac{18}{\square} = \frac{\square}{32} = \frac{3}{8}$

分母同士の関係が何倍になっていたか、気がついたかな。

【答え】  $\frac{4}{12}$



【答え】  $\frac{18}{48} = \frac{12}{32}$

問二 次の分数を大きい方から順にならびかえましょう。

$\frac{1}{3}$  ,  $\frac{2}{5}$  ,  $\frac{5}{12}$

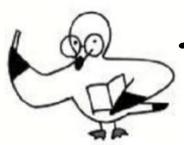
分母の3と5と12に注目して、最小公倍数60に合わせて、それぞれ通分してみると、比べやすいよ！



【答え】 1番目  $\frac{5}{12}$     2番目  $\frac{2}{5}$     3番目  $\frac{1}{3}$

問三 学校の読書週間のある日、たかしさんは  $\frac{2}{3}$  時間、さとみさんは  $\frac{7}{10}$  時間、ひかるさんは  $\frac{11}{15}$  時間、それぞれ本を読みました。本を読んだ時間が一番長かったのは、だれでしょうか。

分母の3と10と15に注目して、最小公倍数30に合わせて、それぞれ通分してみると、比べやすいよ！



【答え】 ひかる さん

問 四 次の計算をしましょう。

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{3}{10}$$

$$= \frac{10}{30} + \frac{9}{30}$$

$$= \frac{19}{30}$$

【答え】  $\frac{19}{30}$

$$(2) \frac{1}{3} + \frac{5}{6} + \frac{5}{9}$$

$$= \frac{6}{18} + \frac{15}{18} + \frac{10}{18}$$

$$= \frac{31}{18}$$

【答え】  $\frac{31}{18} \left( 1 \frac{13}{18} \right)$

分母の3と6と9に注目して、最小公倍数18に合わせて、それぞれ通分して足してみると、計算しやすいよ！



問 五 次の計算をしましょう。

$$(1) \frac{5}{6} - \frac{1}{2}$$

$$= \frac{5}{6} - \frac{3}{6}$$

$$= \frac{2}{6}$$

$$= \frac{1}{3}$$

計算したら、約分ができるかどうか確認しよう！

【答え】  $\frac{1}{3}$



$$(2) \frac{9}{8} - \frac{1}{6} - \frac{1}{12}$$

$$= \frac{27}{24} - \frac{4}{24} - \frac{2}{24}$$

$$= \frac{21}{24}$$

$$= \frac{7}{8}$$

分母の8と6と12に注目して、最小公倍数24に合わせて、それぞれ通分して足してみると、計算しやすいよ！

【答え】  $\frac{7}{8}$



問 六 運動会で使う看板をつくるために  $\frac{25}{6}$  m<sup>2</sup>の板を3日間に分けてペンキをぬります。

1日目は、 $\frac{7}{4}$  m<sup>2</sup>をぬり、2日目は、 $\frac{11}{12}$  m<sup>2</sup>をぬりました。

3日目は、何m<sup>2</sup>ぬればよいでしょうか。

【式】  $\frac{25}{6} - \left( \frac{7}{4} + \frac{11}{12} \right)$

$$= \frac{25}{6} - \frac{8}{3} = \frac{25}{6} - \frac{16}{6}$$

$$= \frac{9}{6} = \frac{3}{2}$$

【答え】  $\frac{3}{2} \left( 1 \frac{1}{2} \right) \text{ m}^2$

かっこを外して分母の6と4と12に注目して、最小公倍数12に合わせて、それぞれ通分して計算する方法もあるよ！

